

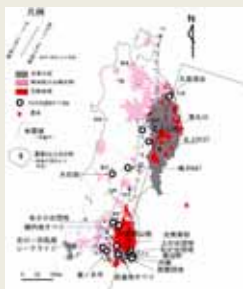
1



2



阿武隈山地花崗岩帯の地すべり 棚倉町 W=L=15~20m マサ



古第三紀 泥岩のすべり いわき市上の台の岩盤すべり



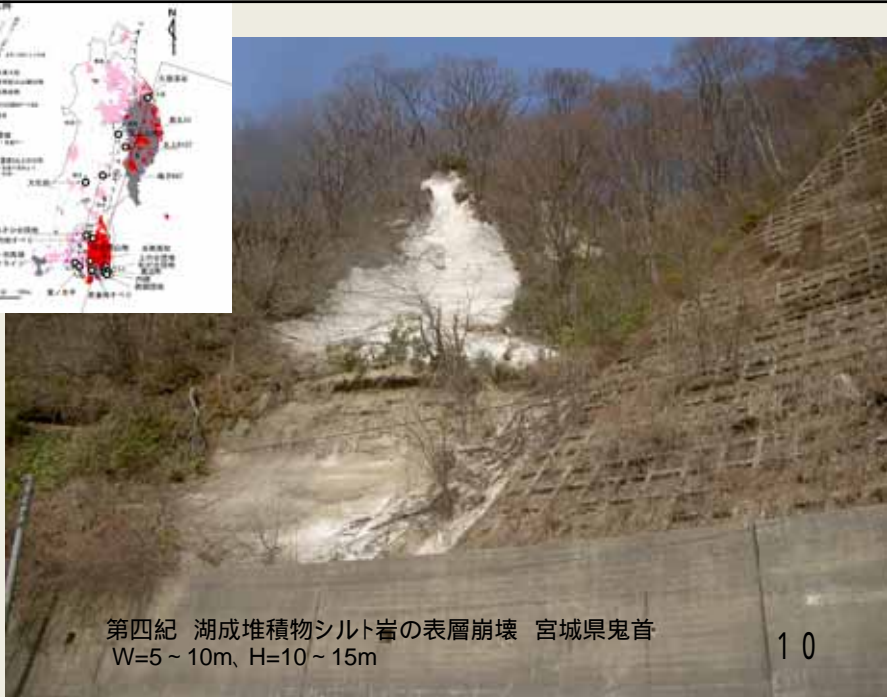






新第三紀火山礫凝灰岩の岩盤崩落  
W=10 ~ 15m H=20 ~ 30m 宮城県鳴子

9



第四紀 湖成堆積物シルト岩の表層崩壊 宮城県鬼首  
W=5 ~ 10m、H=10 ~ 15m

10

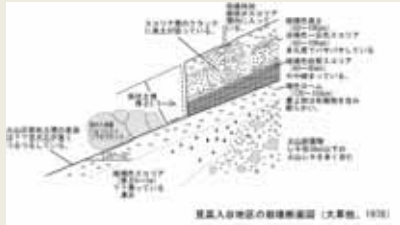


第四紀白河溶結凝灰岩の岩盤崩落 福島県白河 - 羽鳥レイクライン 11  
W=40~50m H=30~40m

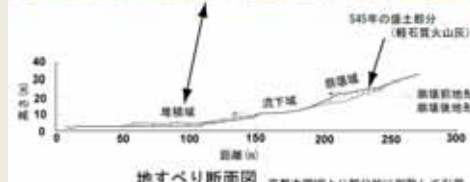


第四紀軽石の流動性すべり 福島県白河市 葉の木平 W=L=80~100m





1978 伊豆半島近海地震 (M7.0)  
見高入谷地区 (震度VI+)の地すべり形状 (大塚雄か, 1978)

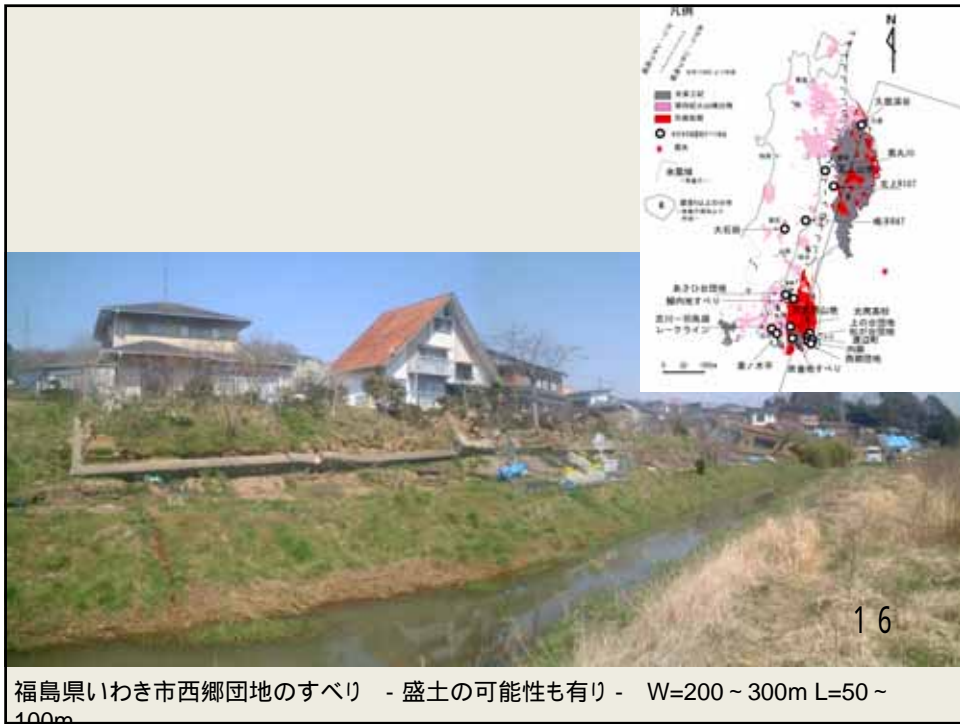


2003 三陸南地震 (M7.1)  
宮城県築館町の流動性地すべり

葉の木平のすべりと同様の軽石層に発生した過去の地震地すべり



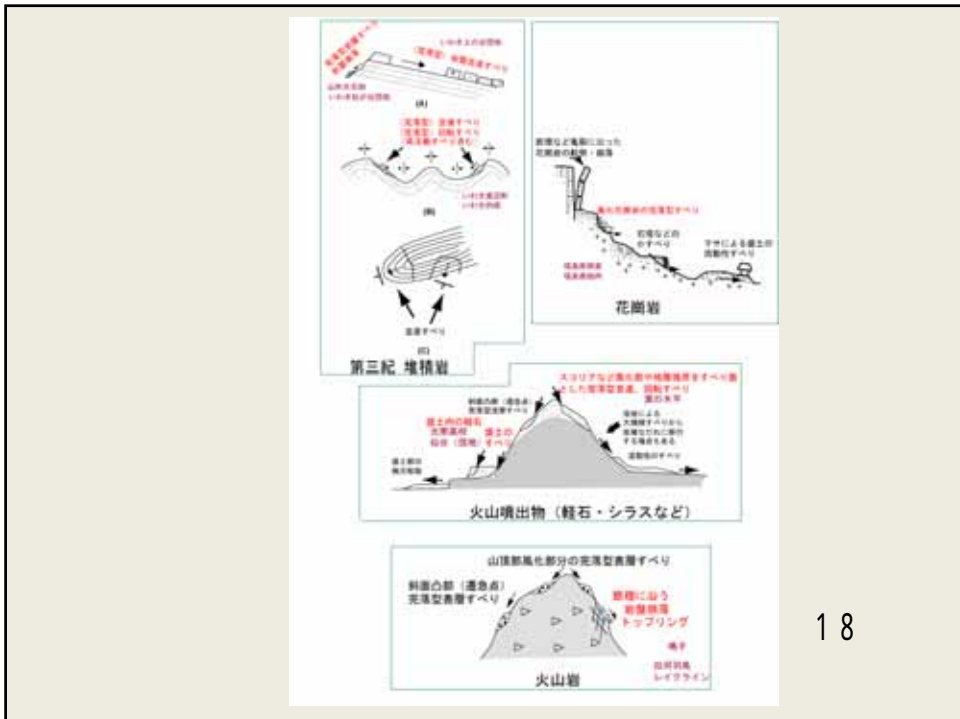
盛土道路のすべり 岩手県北上市R107号 W L 100~150m







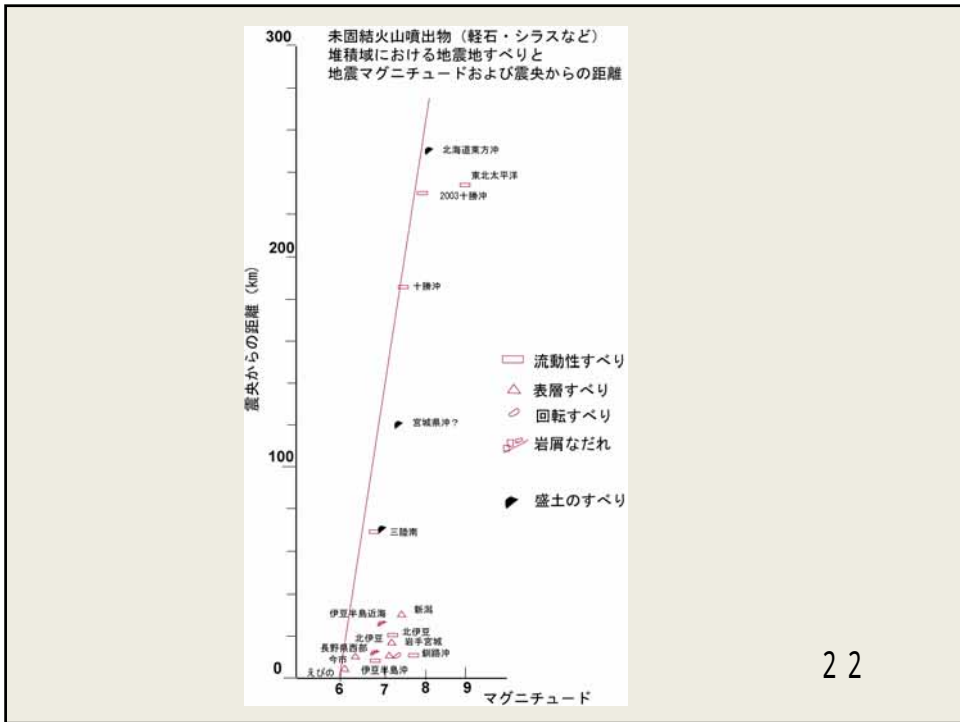
福島県矢吹市光南高校駐車場のすべり  
軽石混じり盛土



東北地方太平洋沖地震に伴う地震地すべりの地形地質的特徴  
- 東北地方の事例 -

場所	地質	地質的特徴	地形的特徴	運動タイプ
岩手	久慈渓谷	中生代砂岩	破砕されている	河川攻撃斜面
福島	棚倉町	花崗岩	マサ化部分	岩盤崩落
福島	いわき市上の台	古第三紀 泥岩	層理発達	小規模回転すべり
福島	いわき市松が台	古第三紀アルコ - ス砂岩	層理発達	岩盤並進すべり
福島	いわき市渡辺町	古第三紀泥岩	風化泥岩	岩盤崩落
福島	いわき市内郷	古第三紀泥岩	層理発達 風化泥岩	風化岩盤すべり
岩手	花巻市葛丸川	新第三紀 軽石質凝灰岩、泥岩	地層垂直	河川攻撃斜面
山形	大石田町	新第三紀 粗粒砂岩 軽石含む	層理発達	河川攻撃斜面
宮城	鳴子町	新第三紀 火山礫凝灰岩	節理発達	岩盤崩落
宮城	鬼首	第四紀 湖成堆積物 シルト岩	塊状 火山灰質	小規模表層すべり
福島	白河 - 羽鳥線	第四紀 溶結凝灰岩	節理発達	岩盤崩落
福島	白河 葉ノ木平	第四紀 未固結火山噴出物	軽石など火山噴出物	回転 - 流動すべり
岩手	北上R107	土砂 盛土		回転すべり
福島	福島市あさひ台団地	土砂 盛土		回転すべり
福島	いわき市西郷団地	土砂 盛土		回転すべり
福島	矢吹市光南高校	土砂 盛土	軽石混入	回転すべり
宮城	仙台緑が丘団地	土砂 盛土		回転すべり
宮城	仙台折立団地	土砂 盛土		回転すべり
宮城	仙台西花園団地	土砂 盛土	軽石混入	回転すべり
宮城	白石市寿山団地(観福寺)	土砂 盛土	軽石質凝灰岩	回転すべり
宮城	白石市 東小学校	土砂 盛土	軽石質凝灰岩	回転すべり
宮城	山元町 sunny town	含泥シルト質凝灰岩および 軽石質凝灰岩	盛土の可能性は不明	回転すべり







### 2011東北地方太平洋沖地震に伴う東北地方の地すべりの特徴とまとめ

- \* 地震規模(M9.0)は大きいが大規模な地震地すべりの発生は少ない。発生件数も少ない。
- \* 崩落や盛土のすべりの多くは震度5程度から発生し、震度6以上で岩盤地すべりが発生している。これらはこれまでの事例と矛盾しない。
- \* 震源断層が陸に近いいわき市では岩盤地すべりが発生しているが移動量が2m程度である。
- \* 小規模な岩盤崩落および盛土のすべりが多く発生し、それらは震央から200～300kmの距離に及んで点在する。今回の地震規模の大きな地震地すべりの特徴の一つといえる。
- \* 1978伊豆半島近海(M7.0)での見高入谷や2002年三陸南地震(M7.1)の築館市と同様に軽石層での流動性地すべりが発生している(福島県葉の木平)。また、盛土の地すべりでは盛土材に軽石の混入がいくつか確認される。
- \* 岩盤崩落は軽石質凝灰岩、軽石質礫岩、溶結凝灰岩の分布域で、且つ河川の攻撃斜面の、斜面对策工が途切れた部分に多く発生している。
- \* 海溝型の大規模地震では震央(震源断層)から100km以上離れた場合でも軽石やシラス、マサなどの流動しやすい地盤、盛土地盤は地すべりが発生しやすい事が再認識された。

